

北京五輪ウエイトリフティング競技

代表に新谷、齋藤選手



長谷場久美コーチと北京五輪代表への選出を喜ぶ齋藤選手（中央）と新谷選手（右）＝6月2日、東京・岸記念体育会館（北國新聞社提供）

本学関係の
五輪出場者

過去最多の3人に

学校法人金沢学院職員の新谷義人選手と東高校教員の齋藤里香選手が今年八月に開かれる北京オリンピックのウエイトリフティング競技の日本代表に選出されました。水泳・女子高飛び込みで金沢学院大学三年の中川真依選手が先に北京五輪代表に選出されており、本学関係の北京五輪代表は八年前のシドニー五輪の二人を上回り、過去最多の三人になりました。

二日に東京で記者会見 ティングの日本代表六人 齋藤選手ともオリンピックが行われ、ウエイトリフ が発表されました。新谷、ク出場は初めてです。

新谷選手は、出場が有力視されながら左手首の怪我で逃したアテネ五輪から四年越しの夢が実現しました。「春に傷めた右



新谷 義人（しんたに・よしと）金沢学院職員。男子69キログラム級。07年世界選手権15位、08年アジア選手権2位。大阪商業大学卒。06年から現職。福井県出身。26歳。

齋藤 里香（さいとう・りか）金沢学院東高校教員。女子69キログラム級。06年世界選手権16位、08年アジア選手権6位。立命館大学卒。06年から現職。京都府出身。25歳。



手首を完治し、万全の状態北京に臨みたい」と意欲を見せています。齋藤選手は、今年の全日本選手権を腰痛で棄権し、アジア選手権の記録も目標に届かず、五輪代表は難しいと思っていただけに喜びも格別。「代表に漏れた仲間にも納得してもらえる結果を出したい」と話しています。

教職員が応援ツアー

金沢学院では、教職員による応援ツアーを実施します。先発隊（8月11

本学など6会場で学生募集説明会



金沢学院大学・金沢学院短期大学の平成二十一年度学生募集説明会は五月二十二日から六月五日まで高岡、七尾、本学、福井、富山、上越の六会場で行われました。このうち五月二十九日に本学で行った説明会「写真右」では、石田寛人学長が二十七高校の教員を前に、奨学金制度の充実など本学の特徴を織り込んで挨拶し、各学部、学科長が教育内容などを説明しました。

日から15日）はウエイトリフティングの新谷、齋藤選手を、後発隊（8月18日から22日）は水泳・女子高飛び込みの中川選手をそれぞれ応援します。